

2023 年度秋の三者総会 議案書

令和 4 年 10 月 24 日 (月)～10 月 28 日 (金) 開催

本議案書は、令和 4 年 10 月 24 日 (月)～10 月 28 日 (金) 開催の、2022 年度秋の三者総会に提出されたものである。

目次

1	2022 年度決算	1
1.1	収支の概要	1
1.2	収入	1
1.3	支出	2
2	2023 年度予算案 [’22/10/19 現在]	4
2.1	収入予定 (概算)	4
2.2	支出予定：各役職校からの予算申請を元に作成、内訳は次節以降に記載。	5
3	有志学生連合制度の適応具体案	7
3.1	議案	7
4	キャリアフォーラム継続的開催の提案	7
4.1	概要	7
4.2	FAQ	8
4.3	参考資料	8

1 2022 年度決算

2022 年 10 月 7 日

文責：渡辺証斗 (北海道大学)

2022 年度決算書を以下の通り提出いたします。何卒ご承認をよろしくお願い申し上げます。

1.1 収支の概要

- (+) が収入を、(-) が支出を表す。

項目	本年度決算	前年度決算
参加登録費	+¥0	+¥0
素粒子論グループ援助金	+¥54,000	+¥150,000
基研援助金	+¥99,650	+¥99,420
日本物理学会原稿料	+¥3,000	+¥0
個人からの援助金	+¥0	+¥0
前年度繰越し金	+¥810,913	+¥806,575
旅費補助(招待講師)	-¥0	-¥0
旅費補助(学生)	-¥0	-¥0
ポスター印刷費	-¥99,650	-¥99,420
役職校支出	-¥30,058	-¥145,662
次年度繰越し金	¥837,855	¥810,913

1.2 収入

- (1) 参加登録費：¥0
(2) 外部団体からの援助・協賛金：¥157,000

団体名	内容	申請額	援助額	差額
素粒子論グループ	運営費	¥54,000	¥54,000	¥0
基研	ポスター印刷費	¥99,650	¥99,650	¥0
高エネルギー研究者会議	協賛	¥0	¥0	¥0
仁科加速器センター	協賛, 原子核研究「夏の学校特集号」出版費	¥0	¥0	¥0
日本物理学会	原稿料	+¥3,000	+¥0	+¥3,000
KEK	協賛	¥0	¥0	¥0
RCNP	協賛	¥0	¥0	¥0
合計		¥156,650	¥153,650	+¥3000

- (3) 前年度繰越し金：¥810,913

収入合計：(1) + (2) + (3) = ¥967,563.

1.2.1 素粒子論グループよりいただいた援助金の用途

素粒子論グループよりいただいた援助金 ¥57,000 の用途の(申請時の)内訳を次の表にまとめる。

項目	金額
役職校支出	¥30,058
合計	¥30,058

1.2.2 基研からの援助金の内訳

基研よりいただいた援助金 ¥99,650 の内訳を次の表にまとめる。

項目	金額
ポスター印刷費	¥99,650
合計	¥99,650

1.3 支出

- (1) 旅費補助：¥0
(2) ポスター印刷費：¥99,650*¹
(3) 役職校支出合計：¥30,058 (支出の内訳については次の表および次節を参照)

役職名	予算	決算	差額	前年度決算
三者				
センター校	¥2,000	¥3,144	-¥1,144	¥880
事務局校	¥0	¥0	¥0	¥0
準備校	¥49,100	¥24,962	+¥24,138	¥47,922
企画校	¥0	¥0	¥0	¥95,170
素粒子論パート				
事務局校	¥0	¥0	¥0	¥0
準備校	¥3,000	¥1,950	¥1,050	¥1,620
講義録校	¥0	¥0	¥0	¥0
原子核パート				¥0
センター校	¥0	¥0	¥0	¥0
準備校	¥0	¥0	¥0	¥0
ハラスメント対策委員	¥0	¥0	¥0	¥0
合計	¥54,000	¥30,058	+¥26,942	¥145,662

支出合計：(1) + (2) + (3) = ¥130,058

次年度繰越し金：(収入合計) - (支出合計) = ¥837,855 (対前年差 + ¥26,942)

1.3.1 各役職校の支出内訳

- 三者センター校 (北海道大学)

項目	予算	決算	差額	前年度決算
振込手数料	¥2,000	¥880	+¥1,120	¥880
賞状代	¥0	¥1,264	-¥1,264	¥0
賞状輸送代	¥0	¥1,000	-¥1,000	¥0
合計	¥2,000	¥3,144	-¥1,144	¥880

振込手数料：ホテル利用料、および旅費補助の支払いにかかる振込手数料

賞状代：研究会で優れた発表を行った人への賞状代

賞状輸送代：賞状の輸送代

- 三者準備校 (大阪大学)

項目	予算	決算	差額	前年度決算
コピー代	¥5,000	¥0	+¥5,000	¥0
消耗品代	¥10,000	¥572	+¥9,428	¥2,629
郵送費	¥20,000	¥22,670	-¥2,670	¥22,640
備品送料	¥0	¥1,720	-¥1,720	¥0
会場下見代	¥0	¥0	¥0	¥0
Zoom	¥14,100	¥0	+¥14,100	¥22,723
合計	¥49,100	¥24,962	+¥24,138	¥47,992

コピー代：書類のコピーにかかる費用（ポスター印刷は除く）

消耗品代：運営に必要な文具、およびポスター送付にかかる封筒などの物品購入費

郵送費：各大学へのポスター郵送費

備品送料：次年度準備校への備品運搬費

会場下見代：会場下見にかかる旅費

Zoom代：Zoomのアカウント作成費

● 素粒子論パート準備校（九州大学）

項目	予算	決算	差額	前年度決算
機材送料	¥3,000	¥1,950	+¥1,050	¥1,620
合計	¥3,000	¥1,950	+¥1,050	¥1,620

機材送料：夏の学校会場および次年度担当校への機材運搬費

2 2023年度予算案 [’22/10/19 現在]

文責：羽生田典麻（名古屋大学）

2.1 収入予定（概算）

- (1) 前年度繰越金（2022年度決算終了時の繰越金額を記載）：¥837,855
- (2) 参加費（現地参加者が100名＋オンライン参加150名の場合）：
 $¥4,000 \times 100 + ¥2,000 \times 150 = ¥700,000$
- (3) 外部団体への援助・協賛申請（内訳は下表）：¥950,000

団体名	内容	今年度申請額
素粒子論グループ	旅費補助*	450,000
基研	講師等旅費, ポスター印刷費*2	500,000*1
高エネルギー研究者会議	協賛	0
仁科加速器センター	協賛	0
KEK	協賛	0
RCNP*3	協賛, 原子核研究「夏の学校特集号」出版費	出版費
申請額合計		950,000

* 秋季学会で援助申請を行った。承認して頂き援助をしてもらうことが決定した。

★1 例年どおり申請を1月に行う。

★2 ポスター印刷費は、実際にかかった費用のみが支払われる。

★3 次回の春季学会にて申請。

収入合計：(1) + (2) + (3) = ¥2,487,855

2.2 支出予定：各役職校からの予算申請を元に作成、内訳は次節以降に記載。

役職名	今年度予算案	前年度決算額 *1
三者センター校	18,000	2,096
三者事務局	0	0
三者準備校	611,710	24,962
三者企画校	0	0
素粒子論パート準備校	12,000	3,000
素粒子論パート講義録校	0	0
原子核パートセンター校	0	0
原子核パート準備校	5000	0
計	646,710	30,058

*1 前年度決算は2022年度三者センター校の決算報告に基づいている。

(注.) 他に『学生旅費補助』、『次年度繰越金』、『ポスター印刷費(上限10万円)』、『講師旅費』などがある。

2.2.1 各三者役職校の支出予定項目

- 三者センター校 (名古屋大学)

申請項目	申請額
振込手数料	16,000
賞状代	2,000
申請額合計	18,000

振込手数料：16,000円(学生への旅費補助の振り込み)

対面参加学生の半分がゆうちょ銀行(手数料100円)への振込、残り半分が他銀行(手数料220円)への振込として算出。

※ 役職校への振り込みは夏学当日の手渡しで代用予定

賞状代：2016-2018年のものをもとに算出。

- 三者準備校 (九州大学)

申請項目	申請額
施設使用料	268,710
コピー代	20,000
備品送料	5,000
会場下見代	200,000
ポスター制作費	30,000
機材費	33,000
zoom	25,000
輸送費	25,000
消耗品代	5,000
申請額合計	611,710

施設使用料：国立オリンピック記念青少年総合センターを8/17～8/21の間、使用。

コピー代：ポスターや参加受付の際に配布する資料等の印刷費（2017年度予算案をもとに算出）。

備品送料：次年度準備校への備品運搬費。（2017年度予算案をもとに算出。）

会場下見代：会場下見にかかる旅費および、実際に現地でWiFiルーターとカメラをレンタルし機能テストを行う費用。

ポスター制作費：個人クリエイターへの製作依頼費。相場：<https://www.shisodo.com/?onelogs=>
【まとめ】媒体別グラフィックデザインの費用相※前年度など、秋元さんへ依頼した場合には依頼費6万円。

機材費：現地でのWiFiルーターとカメラ（2台）のレンタル代。

zoom：zoomのアカウント作成費。（2022年度予算案をもとに算出。）

郵送費：各大学へのポスター郵送費。（2022年度予算案をもとに算出。）

消耗品代：運営に必要な文具、およびポスター送付にかかる封筒などの物品購入費。（2017年度予算案をもとに算出。）

2.2.2 各パート役職校の支出予定項目

- 素粒子論パート準備校（茨城大学）

申請項目	申請額
32GB SD カード	4,000
機材送料	6,000
消耗品代	2,000
申請額合計	12,000

32GB SD カード 4 枚：録音・録画保存用。(Amazon をもとに算出)

機材送料：夏の学校会場、次年度準備校への機材運送費。(2019 年予算をもとに算出)

消耗品：消耗品(ホワイトボードマーカーなど)の購入費。(2019 年予算をもとに算出)

- 原子核パート準備校(筑波大学)

申請項目	申請額
印刷・コピー代	2,000
文具代	3,000
申請額合計	5,000

印刷・コピー代：研究会プログラム、アブストの印刷代。(2014、2015 年度の予算案をもとに算出)

文具代：2014、2015 年度の予算案をもとに算出。

3 有志学生連合制度の適応具体案

2022 年 11 月 25 日

文責：田中和樹(新潟大学)

3.1 議案

本議案書では 2022 年度夏の三者総会にて可決された有志学生連合制度 [1] に従って、有志学生スタッフの募集結果を報告します。

2022 年度三者若手夏の学校終了時のアンケートにて有志学生スタッフの募集を実施した結果、合計で 3 名の有志が集まりました(表 1)。表の 3 名を有志学生スタッフとして報告します。

氏名	所属	分野	現在の学年(2024 年時)
西淵拓磨	東京都立大学	N	M2(D2)
渋谷翔之	名古屋大学	P	M1(D1)
choi minjae	筑波大学	P	M1(D1)

表 1 2024 年度有志学生スタッフ。分野は素粒子・原子核をそれぞれ P・N としている。

参考文献

[1] 2022 年度夏の三者総会議案書

http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~sansha.wakate/document/2022summer_gian.pdf

4 キャリアフォーラム継続的開催の提案

2022 年 10 月 21 日

文責：中西智暉(大阪公立大学)

4.1 概要

「学位取得後、目指すキャリアにどのようにアプローチすればよいか。」や「研究者としてのキャリアパスの全貌が見えない。」という悩みは常に私たちが属している研究業界では絶えない問題でしょう。特に学生の我々がこれらの情報に触れる機会は少なく、将来が見通せない不安を理由に、博士課程進学や研究者としてのキャリアを諦める人は多いと思われます。また近年、内閣府で行われている総合科学技術・イノベーション会議 [1] においても、アカデミックキャリアパス*¹や、産業界へのキャリアパスについて議論されています。こうした状況の中で我々学生自身がキャリアパスを考えることはもちろんのこと、学位取得後のキャリアに関する情報に気軽にアクセスできる土壌を養成することは、重要であると考えられます。

原子核三者夏の学校は、全国の研究室から数百人規模の学生が毎年参加しています。このため、日本の高エネルギー理論の学生に対して、学位取得後のキャリアに関する情報を最も効果的に共有できる機会であると言えます。そして前回、2022 年度の夏の学校においては特別企画として「夏学 OB・OG と考えるアカデミックキャリア」[2] が開催されました。その参加者を対象としたアンケート結果（後述）は全体としては好評でした。

そこで 2023 年度三者企画校からは、来年度もキャリアフォーラムを開催すること、並びに原子核三者若手夏の学校の継続的な企画として位置付けることを提案いたします。

提案の詳細：

- 企画・運営は主に各年度ごとの三者企画校が執り行う
- また、その際夏学 OB・OG の代表者の方に協力してもらう
- 他役職校に対しては、ポスターや夏学 HP への掲載、現地開催の場合は会場を使う場合などに、企画校から協力をお願いをする

4.2 FAQ

- 予算はどうするのか。

現状、来年度の開催形式についてはほぼ何も決まっていません。ですので、来年度に関しては可能な限り費用がかからないようにしますが、必要な場合は新たに申請します。再来年度以降に関しては、来年度の費用を踏まえて企画校から予算申請することになります。

- アカデミア以外のキャリアについてはどうするのか。夏学の趣旨を逸脱していないか。

キャリアフォーラムの開催の意義としては学位取得後の進路について、登壇者の具体的な経験談という形で情報を提供することにあります。ですので、当然ながらアカデミア以外のキャリアもその範疇に入るはずであり、それが理想的です。しかし夏学の一企画として行うことを考えれば、アカデミア以外のキャリアを選んだ方をお呼びする人数を一定割合以下にするなど、なんらかの配慮は必要であると考えています。

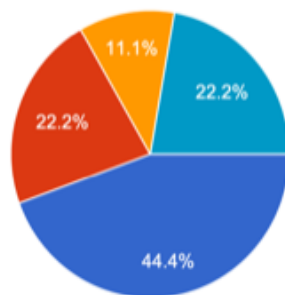
4.3 参考資料

2022 年度の夏の学校において開催された「夏学 OB・OG と考えるアカデミックキャリア」[2] について、参加者を対象としたアンケート結果 [3] を一部紹介いたします。（注：アンケートの形式上、キャリアフォーラムに参加していない方も回答しています。）

*¹ 「アカデミックキャリア」とは、「大学、およびそれに準ずる公的機関に所属する研究者としてのキャリア」のことを意味します。

第一部のインストラクション(藤原氏)は満足できましたか？

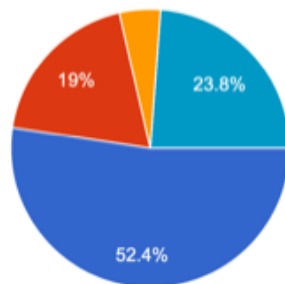
63件の回答



- 十分満足できた
- まずまず満足できた
- 普通
- あまり満足できなかった
- 全く満足できなかった
- 参加していない

第一部のキャリアパス講演(佐藤氏)は満足できましたか？

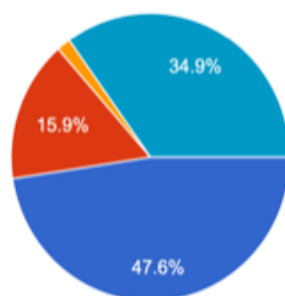
63件の回答



- 十分満足できた
- まずまず満足できた
- 普通
- あまり満足できなかった
- 全く満足できなかった
- 参加していない

第二部のブース座談会は満足できましたか。

63件の回答



- 十分満足できた
- まずまず満足できた
- 普通
- あまり満足できなかった
- 全く満足できなかった
- 参加していない

今後も、夏の学校でキャリアフォーラムを継続的に開催していくべきだと思いますか。

63件の回答



参考文献

- [1] 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議
議題「人材育成に係る産業界ニーズを踏まえた高等教育の在り方について」
<https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/yusikisha/20200806.html>.
- [2] 2022年度 三者若手夏の学校
特別企画 三者共通 キャリアフォーラム「夏学 OB・OG と考えるアカデミックキャリア」
<https://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~sansha.wakate/school2022/career.html>.
- [3] 原子核三者若手 夏の学校 2022 アンケート
(一部個人情報に記載されているため URL の共有は控えさせていただきます。)